



原発ゼロ！子どもたちに安全な未来を

日本共産党中央区議会議員

## 奥村あきこ レポート

ブログもご覧ください [『奥村あきこ』](#)で検索！



奥村あきこ事務所 中央区月島3-23-5  
電話 3531-7136  
区議団控室 電話 3546-5575  
中央地区委員会 電話 3551-6820

# 第四回定例会 一般質問 高すぎる国民健康保険料の引下げを

11月22日から12月6日の日程で中央区議会第4回定例会が開かれました。11月26日、日本共産党区議団を代表して、私が質問に立ちました。

今年度、国民健康保険料が1人あたり4000円引き上げられました。これは中央区が国保会計への補助を2億円削ったためです。中央区では高すぎる国保料が払えず、滞納している世帯が2割にのぼっています。

中央区での国保料の滞納世帯数は2017年度は5937世帯で、その多くは低所得者です。滞納世帯に対する差押さえは、2014年度の7件から2017年度は259件と37倍に激増しています。滞納世帯の22世帯に1件の割合で差押さえが行われていることになり、深刻です。

### 2割にのぼる滞納世帯

### 急増する差押さえ

#### 【質問事項】

1. 国益を損ねる安倍政権について
2. 消費税増税について
3. 築地の今後について
4. 大規模開発優先の税金の使い方にについて
5. 国民健康保険について
6. 保育ママのもとでの死亡事案について
7. 市街地再開発事業における駐輪スペース設置について

### 自立支援はゼロ

### 差押さえ強化は解決にならぬ

区はこれまで差押さえについて「収納相談の重要な機会と捉えている」としてきましたが、今回質問したところ、差押さえを行つた259件のうち、分納などにつながつたケースはわずか38件で、生活困窮者自立支援につながつたケースはゼロだということが分かりました。

私が「さらなる差押さえ強化をするのか。目標値も定めているのか」質問すると、区は「一定の目標を掲げ、法令に則り滞納処分を行つて、生活困窮者自立支援につながつたケースはゼロだ」ということになりました。



### 国保料引き下げのため 区は国保会計への補助継続を

いくら差押さえを強化しても根本的な解決にはなりません。

国に対し公費負担増を要請す

ることとあわせ、区としても国保会計への補助を継続し、高すぎる国保料を引き下げることは待つたなしの課題です。  
誰でも必要な時に公用な医療をうけられる国民皆保険制度を維持することが求められます。

【区民と区議会、双方の努力が実り

# 石川島記念病院 再開決定へ

今年9月、佃2丁目にある医療法人社団健育会「石川島記念病院」に、11月末で病院を閉鎖する旨をお知らせする張り紙がはられました。

同時期、病院側から区に説明があり、区議会でも幹事長を通して各会派に対し区から説明がありました。

開設以来、赤字が続いていることが理由とされています。

## 存続願い、広がった署名

突然の話に驚いた病院利用者や地域住民の方たちが、なんか病院を存続してほしいと署名活動に取り組み、わずかな期間で署名を約800筆集め、2回にわたり区長に提出しました。署名用紙には、地域の人たち

にとつて欠かせない病院を存続させるため、中央区として尽力してほしいという内容が書かれています（左下に全文掲載）。

## 超党派で動いた区議会

区議会では、各会派の幹事長らが「病院の閉鎖は深刻。超党派で取り組もう」と相談し、10月17日に、議長名で区長への要望書を提出しました

日本共産党区議団からは、志村たかよし幹事長が同席し、区長に「次の法人が見つかるまでの間、区が病院運営を行うとう覚悟をもって病床を守つてほしい」と訴えました。

## 病院側が再開を決定

区民、議会、区、一丸となつたこうした動きをうけて、医療法人社団健育会は病院運営の継



続を発表しました。

11月末で一旦休院するものの、診療機能を見直し、遅くとも2019年9月には同法人が診療を再開する予定のことです。

地域に根ざした医療体制構築や赤字解消など、課題を克服し、1日も早い再開が待たれます。

中央区長 矢田美英 様

## 要 望 書

### (佃2丁目) 石川島記念病院を存続してください

佃2丁目にある「石川島記念病院」が本年11月30日を以て診療休止することです。そのことを病院玄関の張り紙を見てはじめて知ったという人も多く、突然のことに困惑が広がっています。

一般診療、区民健診、そして入院病床もあるなど地域の人たちにとって欠かせない病院です。近くにあり通院しやすい病院がなくなってしまうことは大きな不安です。

以前、佃2丁目にあったI H I 東京病院（旧石川島播磨重工業健康保険組合病院）の閉院問題がおきました。87年前（昭和6年）開院の「石川島造船所健康保険組合病院」を発祥とし、永年にわたり地域医療の拠点となってきた病院です。地域から「病院を存続してほしい」という強い要望がわき起り、経営する医療法人は変わりましたが病院は存続されました。4年前には現在地に新病院、「石川島記念病院」が開設されました。多くの人が「ほっとした」と喜びました。

この病院を存続させるため中央区として尽力してください。

2018年 月 日  
病院利用者及び住民一同

氏 名	住 所